

令和 4 年度 予算編成の基本的な考え方

国は、「経済財政運営と改革の基本方針 2021」において、新型コロナウイルス感染症対策に最優先で取り組みながら、本格的な歳出改革に取り組むこととし、義務的経費等以外の要求枠を10%削減する一方、ポストコロナの持続的な成長基盤を作る方針として4つの原動力「グリーン社会の実現・デジタル化の加速・活力ある地方創り・少子化の克服」への予算を重点化するとしている。

地方財政については、社会保障関係費の増加が見込まれる中、地方団体が重要課題に対応しつつ、行政サービスを安定的に提供できるよう、「新経済・財政再生計画」等を踏まえ、交付団体をはじめ地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源の総額について、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとしている。

県における令和4年度当初予算編成に当たっては、行革プランに掲げた取組を執行しながら、「令和4年度政策経営基本方針」に基づき、「とちぎ未来創造プラン」及び「とちぎ創生15戦略」の着実な推進を図るとともに、「新型コロナウイルス感染症の克服とポストコロナにおける『新たな日常』への対応」、「DXの推進」、「脱炭素化の取組等の推進」、「国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会の開催」の重点事項を積極的に展開するとしている。

令和4年度予算編成に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きを見通すことが困難な状況にあるが、今後の感染状況や国の経済対策等と連動し、ウィズコロナ、ポストコロナを見据えた新たな行政課題に取り組むとともに、まちづくりの基本指針となる「第2次那珂川町総合振興計画後期基本計画」及び「第2期那珂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる、各種施策を着実に推進していくこととする。

このため、町の厳しい財政状況を踏まえ、事業の平準化に努めるとともに、創意工夫と柔軟な発想を持って、前例や既成概念にとらわれず、必要性、緊急性、費用対効果を検証しつつ、前年度の屋内水泳場建設費用を考慮し、前々年度当初予算を下回る予算編成を目指すこととした。